

カーボンニュートラル通信(9月号) テレビの省エネ

残暑も落ち着き、朝晩は涼しくなって秋の気配を感じるようになりました。今月は、皆さんがよく使われているテレビの省エネについてご紹介します。

いつも使っていると気づきにくいのですが、テレビ画面のホコリで明るさが落ちます。「テレビがちょっと暗いかな?」と思ったら、画面を掃除してください。サッとホコリを拭き取る程度でOKです。

画面を明るくしすぎたりすると、多くの電力を消費します。暗くて見づらいと感じた場合は、画面の明るさを上げる前に、部屋の照明を調整してみましょう。50型の液晶テレビの画面の明るさを1割下げた場合、年間の電気料金が約581円おトクになります。

明るさの調整で年間約581円おトクに!

電気18.73kWhの節約



出典：資源エネルギー庁

《お問い合わせ先》 高山村カーボンニュートラル推進協議会(事務局：地域振興課)
☎0279-63-2111(内線21)

★☆☆ 9月の星空

○星図の説明

15日午後9時の星空です。

月初めの午後10時頃、月末の午後8時頃にも同じ星空になります。(「月」を除く) 9月8日未明に、約3年ぶりに日本全国で皆既月食が見られます。

- ・部分食の始まり 1時27分
- ・皆既食の始まり 2時30分
- ・食の最大 3時12分
- ・皆既食の終わり 3時53分
- ・部分食の終わり 4時57分

※ぐんま天文台では、皆既月食のLive配信を行います。



6日 月デジ

8日 皆既月食Live配信

※詳細は、ぐんま天文台HPをご覧ください。



☆おうちでつくってみよう☆

8月8日(金)に開催した、おやこの料理教室のレシピのうち1品をご紹介します。

★コーンシューマイ

調理時間30分

【材料 4人分】

豚ひき肉 240g
玉ねぎ 1/2個(120g)
しょうが汁 小さじ1

A (砂糖 小さじ2/3
塩 小さじ1/6
しょうゆ 小さじ2
ごま油 小さじ1)

コーン(缶) 120g
片栗粉 小さじ2
レタス 4枚(120g)



【つくりかた】

- ①玉ねぎはみじん切りにする。コーンはザルで水切りをする。
- ②ボウルに、豚ひき肉、玉ねぎ、しょうが汁、Aを入れてよくこねる。タネを一口大に丸める。
- ③水気を切ったコーンをバットに広げ、片栗粉をまぶす。
- ④フライパンに、クッキングシートを広げ、5mm幅に切ったレタスを広げる。②のタネに③のコーンをまぶして、ぎゅっと握り丸めて、レタスの上のせる。
- ⑤フライパンとクッキングシートの上に水150mL(分量外)を入れ、蓋をして、強火で加熱する。沸騰したら中火にし、10分蒸す。

【レシピ：日本食生活協会】



さとのわ通信 Vol.6

だんだん広場

先日、さとのわ だんだん広場にて第一回さとのわ映画祭を開催しました。当日は村外の方を中心にご来場いただき、映画を通じて交流のひとつを楽しんでいただきました。今後は、村内の皆さまにも気軽にご参加いただけるよう、お子さま連れでも楽しめるアニメ映画や、笑って楽しめるコメディ作品なども上映していく予定です。



Thank You for
3 Years



さとのわカフェ

おかげさまで、さとのわカフェは令和7年9月17日で3周年を迎えます。

日頃のご愛顧に感謝し、3周年フェアを開催予定です。

内容や期間などの詳細は、さとのわカフェまたは公式Instagramで随時お知らせしますので、ぜひチェックしてください！

Instagram : @satonowa_takayamamura

広報たかやま 8月号の誤表記について

広報たかやま 8月号のさとのわ通信内「ロゴマークの説明」の掲載内容において、以下のとおり誤りがございました。謹んでお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

誤 加工 正 囲う

《お問い合わせ先》 たかやま未来センターさとのわ ☎0279-25-8833



● 中之条町と連携して移住・定住支援を強化

先日、中之条町の移住定住支援を担う地域おこし協力隊・相田さんと意見交換を行いました。相田さんは町内の空き家利活用を中心に活動されており、現場での工夫や地域との関わり方など大変参考になるお話を伺いました。空き家には、相続や登記の整理、親戚間の話し合い、残置物の片付けや庭木の管理、老朽化による状態把握など多くの課題があります。こうした課題を一つずつ解決し、利活用の可能性を引き出すことが重要です。本村でも空き家調査を進めており、現在は4件の物件について利活用の方法を模索しています。移住者を受け入れる住宅不足は共通の課題であり、今後は町村の枠を越えて連携を図りながら、住まいの確保と地域の活性化に向けた取り組みを進めていきます。



こちら地域おこし協力隊

すずき ゆうや
鈴木 裕也



協力隊としての活動も5カ月が経ちました。現在は研修先での牛舎作業の他、飼料用トウモロコシの作付けと管理、収穫した際のコンサイレージの作成などを学ば

せていただいています。牛は言葉を話せないためこちらがよく観察し、さまざまなサインやトラブルなどに気づかなくてはなりません。まだまだ見落とすことも多く、未熟さを痛感する毎日ですが、充実した日々を送らせていただいています。

皆さま、ぜひ1日1杯の牛乳を！



つきい ひろし
月井 寛



厳しい日照りや水不足が続いた日々が、今でも記憶に新しいです。農業は個々人の技術だけではなく、天候等の時の運にも左右される、非常に奥深い世界だと痛感して

います。

研修を行う中で、私は「守破離」という考えを念頭に置いています。先達の考えや作業をまず忠実に護り基礎を身に付け、次にノウハウを取り入れた創意工夫を行い、最後に自分なりの型を見つけ創造の段階に入ること。これからも真剣に取り組み邁進してまいります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

